

Replaying Japan

Replaying Japan Conference は、アルバータ大学哲学及び人文コンピュータ学部（Philosophy and Humanities Computing）のジェフリー・ロックウェル教授が、RCGS に客員研究員として訪問し、RCGS の研究メンバーと交流を深めたことを端緒に始まったカンファレンスである。ロックウェル教授は、RCGS の研究員に対し、世界には日本のゲームに関する研究を進めている人たちが多くおり、日本のゲームに関する研究についてより多くの情報を求めていることを明らかにした。一方で、RCGS では、ゲームに関する研究を蓄積してはいたものの、研究発表を主に日本語で行ってきた経緯があり、今後のグローバル化を推進するうえでどのような段取りをすすめていくかについて検討している最中であった。そこで、RCGS 研究員とジェフリー・ロックウェル教授を中心としたアルバータ大学の研究者とで協議を重ね、一つの試みとして 2012 年にアルバータ大学で開催したのが、Replaying Japan と銘打ったシンポジウムであった。

このシンポジウムには、RCGS のセンター長である上村雅之教授をはじめ複数名が参加し、日本のデジタルゲーム研究に関する現状を講演した。それらの研究発表が反響を生み、改めて日本由来のゲームを研究する場の必要性が確認されたことを受けて、改めて翌年の 2013 年、一般公募の研究を含めた本格的なカンファレンス「Replaying Japan」が立命館大学において開催されることになった。それ以降、2014 年と 2015 年には、アルバータ大学の The Prince Takamado Japan Centre ならびに The Canadian Institute for Research Computing in the Arts との共同主催という形で、アルバータ大学と立命館大学が交互にカンファレンスを開催してきた。その後、2016 年に始めてカナダと日本以外の国、ドイツのライプチヒ大学で開催されることになり、2017 年にはアメリカにおける世界最大規模の遊びの博物館であるストロング遊戯博物館での開催となった。2018 年は英国のナショナル・ビデオゲーム・アーケードにて開催、2019 年に京都に戻った後、今年はベルギーで開催が予定されるなど、「Replaying Japan」に参加する協力機関がグローバルな広がりを見せている。

立命館大学ゲーム研究センター

立命館大学ゲーム研究センター（RCGS）は、ゲームの分野における日本で唯一の学術的機関として、2011 年 4 月に立命館大学衣笠総合研究機構に設置された。同センターは、伝統的な遊具や玩具から最新のテクノロジーを用いたゲームまで、幅広いゲームと遊びを対象とし、総合大学の強み、日本のゲームの揺籃の地である京都という立地を活かして、専門的かつ総合的な研究を進めている。また、この分野での産学官連携をいっそう促進するために、行政機関・公的機関とゲーム関連企業・関連団体を橋渡しする役割を積極的に果たしていくこともミッションとしている。現在、立命館大学の 5 学部、27 人の研究者で構成されており、8 つの研究プロジェクトを推進している。

Editorial Board: Replaying Japan Vol. 2

編集責任者 / Editors in Chief

- ◆ Mitsuyuki Inaba (共同編集責任者 / Co-Editor-in-Chief)
- ◆ Geoffrey Rockwell (共同編集責任者 / Co-Editor-in-Chief)
- ◆ Kazufumi Fukuda (共同副編集責任者 / Deputy Co-Editor-in-Chief)
- ◆ Jérémie Pelletier-Gagnon (共同副編集責任者 / Deputy Co-Editor-in-Chief)

編集委員 / Editorial Committee

- ◆ Koichi Hosoi (Ritsumeikan University)
- ◆ Rachael Hutchinson (University of Delaware)
- ◆ Akito Inoue (Ritsumeikan University)
- ◆ Masaharu Miyawaki (Ritsumeikan University)
- ◆ Akinori Nakamura (Ritsumeikan University)
- ◆ James Newman (Bath Spa University)
- ◆ Mimi Okabe (University of Alberta)
- ◆ Pujana Paliyawan (Ritsumeikan University)
- ◆ Martin Picard (Leipzig University)
- ◆ Martin Roth (Ritsumeikan University)
- ◆ Ruck Thawonmas (Ritsumeikan University)
- ◆ Masayuki Uemura (Ritsumeikan University)
- ◆ Shuji Watanabe (Ritsumeikan University)
- ◆ Jeremy White (Ritsumeikan University)
- ◆ Ryosuke Yamanishi (Ritsumeikan University)

We gratefully acknowledge the contribution of the following reviewers who reviewed papers for Replaying Japan Journal vol. 2.

- ◆ Keiji Amano (Seijoh University)
- ◆ Andrew Campana (Cornell University)
- ◆ Tomás Grau de Pablos (Universitat Autònoma de Barcelona)
- ◆ Bryan Hartzheim (Waseda University)
- ◆ Benjamin Whaley (University of Calgary)